

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設 (医療施設:三沢市立三沢病院医療機器更新(X線透視撮影装置))整備事業						
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀						
実施場所	青森県三沢市大字三沢字堀口164番地65号						
補助事業の 成果の目標	X線透視撮影装置である「多目的デジタルX線TVシステム」は間欠的に照射するX線を用いて、体の中の様子をリアルタイムの画像として見ることができる医療機器であり、胃バリウム検査を代表とする消化器系の検査や整形外科での骨折の整復、内視鏡を併用した胆管結石の除去や大腸ポリープ切除などの検査も行うことができる。既存の機器は、平成16年に購入され、現在も活用されているが、令和4年4月以降は保守用部品の供給が困難になることから、故障が発生した場合、当該装置の修復に時間がかかることが予測され、患者への適切な検査ができず治療の遅延が発生するおそれがある。 以上のことから、低線量で画質が向上した最新の多目的デジタルX線TVシステムに更新を行うことにより、地域住民の健康の増進を促し、生活環境の向上に寄与するものである。						
補助事業の内容	X線透視撮影装置 一式						
補助事業の 始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	58,190,000					58,190,000
		50,000,000					50,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>X線透視撮影装置を更新後、従前の検査装置との性能試験結果を比較し、検査精度及び操作性といった機器性能が向上していることを確認した。 実際に機器を用いて診断する医師及び機器の操作者である診療放射線技師へのアンケートを実施したところ、画質精度、動作反応性等の機器性能、操作性及び検査精度について回答者全員が「向上している」と回答しており、操作・手順変更への影響や電子カルテとの連携時も「問題なし」との結果が得られた。また具体的な意見として「前装置よりも低線量で同等以上の画像が得られる」、「ノイズが少なくきれい」「動きがスムーズ」、「モニターの可動域が広がった」との回答があり、メーカー作成の性能比較表の結果通り、医師や操作者の実感に繋がっていると評価できる。 以上のことから、X線透視撮影装置の更新により低線量、高画質等の機器性能、操作性及び検査の正確性を向上させ、機器故障による検査機会の喪失を防ぐことで、迅速・正確かつ安全・安心な検査及び治療体制の維持を図り、地域住民の健康の増進を促し、生活環境の向上に寄与できたと評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>病院の出入口にX線透視撮影装置の更新を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施したことを掲示し、病院ホームページ、市広報誌にも同内容を掲載した。</p>						
事業の改善策及び 今後の対応	今後も引き続き、機器の性能を十分に生かした検査体制の確立と同機器を使用する診療放射線技師の研修等を進めながら、より安定した患者の受け入れと検査体制の充実のため、同機器の適切な維持管理に努める。						
事業評価に際しての 第三者機関の活用の有無	無						